三木町議会だより

CONTENTS

6月定例会

■第1回臨時会を開催 …… 2~3
議長・副議長を選出
委員会構成などを決定
■第2回定例会を開催 …… 6~7
■一般質問 …… 9~18
9人が登壇・町長に見解を求める
■元気なグループ紹介 …… 20
「しらやま朝市」会長 寒川 春己

順調に進むワクチン接種

感染防御のかなめ ワクチン接種始まる

集団接種会場での受付

みき
No.176
2021.7月

令和3年 第1回 臨時会を開会

議長に富田修司氏、副議長に鈴木宏明氏を選出し、各委員会構成を決定

就任のごあいさつ

第42代 富田 修司議長

町民の皆様には、平素より町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私はこの度、三木町議会第1回臨時会におきまして、第42代議長に選出頂きました。

身に余る光栄に感謝申し上げると共に、責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

現在、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない大変な時代の中、地方自治体を取り巻く環境も大変厳しい状況下にあります。

私は町民の皆様と共に、三木町の将来を見据え、真摯にまちの課題解決に全力で取り組む所存でございます。

また、地域住民の皆様にしっかりと向き合い、皆様のお声を尊重し、議会運営においては公平かつ円滑に進めるべく努力してまいります。

今日の深刻な少子高齢化や人口減少などの問題をできる限り克服し、皆様が住んでいて良かったと思える「思いやりと笑顔あふれる町　三木町」づくりに尽力いたします。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、議長就任の挨拶とさせていただきます。

第43代 鈴木 宏明副議長

このたび、議員各位の温かいご推挙を賜り、副議長に就任致しました。

現在、少子化・超高齢化による人口減少など、地方自治体を取りまく環境は大変厳しい状況下にあります。

三木町の優先課題として、地域公共交通網再整備計画が今年度からスタートします。

問題点が出ればその都度見直し、町民の方々が一番使いやすい制度にしたいと思いますので、お気づきの点がありましたら役場なり議会の方までご連絡頂けたらありがたいです。

次は、教育施設の老朽化の問題です。優先的に急ぐのは、白山小学校及び氷上小学校の給食場です。

他の小学校についても同じ問題が出てくるので、行政、有識者及び議会と協議した上で、センター方式を取り入れ現在建設予定地の選定をしているところです。

まだまだ諸課題はありますが、議長を支え三木町というブランド名が消えないよう頑張ります。

常任委員会

◎委員長
○副委員長

総務建設

町有財産の管理、処分、道路、上下水道、農業振興、土地改良事業に関する事項等

粂井　明人

筒井　米市

○岡　昌吾

◎脇　博文

中川　和樹

森本　晃司

安部　正雄

鈴木　宏明

教育民生

教育、生活環境、保健、福祉に関する事項等

富田　修司

西丸　一明

○友保　陽子

◎渡辺　達実

安西　進

市原　信夫

小島　重俊

特別委員会など

議会運営

議会の運営に関する事項

◎西丸　一明
○中川　和樹
脇　博文
渡辺　達実
友保　陽子
岡　昌吾

総合防災対策

防災体制の強化、危機管理対策に関する事項

◎安部　正雄
○岡　昌吾
筒井　米市
富田　修司
脇　博文
鈴木　宏明
市原　信夫

学校施設等整備

学校施設等の整備方針、施設整備、教育環境に関する事項

◎中川　和樹
○森本　晃司
粂井　明人
西丸　一明
渡辺　達実
小島　重俊
安西　進
友保　陽子

地域活性化

有害鳥獣、少子高齢化、空き家、耕作放棄地に関する事項

◎市原　信夫
○西丸　一明
脇　博文
安部　正雄
森本　晃司
中川　和樹
安西　進
友保　陽子
岡　昌吾

議会選出監査委員

粂井　明人

6月定例会

がんばろう事業者応援事業に6千万円
介護・教育従事者にPCR検査実施

令和3年第2回定例会は、6月2日から10日までの9日間の会期で開催された。

今定例会では、新型コロナ対策を行う事業者に最大30万円補助する「がんばろう事業者応援事業」の新設など、新型コロナ対策を中心に総額1億6,861万円の補正予算、並びに行政手続における押印見直しの条例制定や、旧神山小中学校校舎について、地場産業活性化を図る施設として活用するための「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」などを審議の上、原案どおり可決した。

一般質問では9名が登壇し、新型コロナ感染症ワクチンの接種体制や、脱炭素社会の実現に向けた取り組みなどを中心に、町長の考えを質した。また、「旧神山村役場の保存・活用に関する請願」の委員会付託を決定した。

▲「がんばろう事業者応援事業」申請（三木町商工会）

令和3年度一般会計補正予算（第2号）の主な内容

がんばろう事業者応援事業	6,017万7千円
出生児特別応援給付金事業	1,833万8千円
子育て世帯生活支援 特別給付金給付事業	1,516万1千円
議会デジタル化推進事業	467万2千円

一般会計補正予算（第2回定例会）	
補正前の金額	108億 1,148万7千円
補　正　額	1億6,861万8千円
補正後の金額	109億8,010万5千円

議案を審議

臨時会

令和3年5月13日～14日

議長・副議長の辞職に伴う選挙や議会構成の変更、新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保等に係る補正予算を審議するための臨時会を開会した。

○議長選挙結果
富田　修司　10票
脇　博文　5票

○副議長選挙結果
鈴木　宏明　8票
小島　重俊　7票

●各常任委員会構成は、3ページに記載のとおり。

議案審議では、工事請負変更契約の専決処分3件と、予算繰越に係る報告3件を全会一致で承認した。

また、財産の取得や税条例の改正、監査委員の選任、議席の変更等を採決した。

財産の取得

三木消防署に配備する高規格救急自動車と高度救急処置用資機材、本年度より新規運行を予定するコミュニティバス2台の購入を全会一致で可決した。

問　安部議員
入札辞退により、結果として1社応札となった理由を示せ。

答　契約監理課長
入札辞退の理由は公表していない。
様々な要件を加味した業者の選定、各種規定に基づいた入札結果であり、今後とも適正な執行に努めたい。

問　渡辺議員
コミュニティバスをオートステップとしているが、障がい者や高齢者の乗車に支障はないのか。

答　政策課長
乗務員の援助を含めた対応を予定している。

問　西丸議員
車椅子のまま乗車はできるのか。また、手押し車や買い物かごを置くスペースを確保しておくべき。

答　政策課長
14人乗りの一般的なワゴン車であり、車椅子での乗車はできないが、荷物を置く場所の確保は検討する。

▲新しく購入されるコミュニティバス

税条例の改正

①個人住民税における住宅ローン控除特例の1年間延長と内容の一部拡充。

②固定資産税の負担調整（地価公示価格の7割評価）制度の3年間延長など。

③環境性能の良い軽自動車を取得した場合の税率1％軽減を9か月間延長（本年12月31日まで）

また、燃費性能の良い軽自動車取得に対するグリーン化特例の期限を2年間延長する。

これら税条例の改正は、国の地方税法改正に基づくものであり、町長の専決処分を全会一致で承認した。

監査委員の選任

追加議案として、議会選出の監査委員が提案され、全会一致で承認した。

○監査委員　粂井　明人

6月定例会

工事請負契約の締結

公共下水道池戸工区の管渠布設推進工事の契約。

全会一致で可決。

総務建設常任委員会

令和3年6月3日

行政手続における押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

内閣府に設置された規制改革推進会議において、書面規制、押印、対面規制の見直し方針が示されたことから関係条例を改正する条例の制定。

問 **中川委員**

押印をしないといけない書類とは何か。

答 **政策課担当**

内閣府より押印マニュアルが出ており、それにしたがい押印が必要な書類は、契約書・見積書・請求書・領収書・補助金に関するものなどである。

全会一致で可決。

辺地に係る総合整備計画

旧神山小学校・中学校校舎について、地域地場産業活性化を図る施設としての活用を予定している。老朽化した校舎では施設として利用できないため、総合整備計画を策定し、辺地対策事業債を活用した校舎施設の改修等をおこなうもの。

問 **鈴木委員**

現在借りてもらえそうな企業はあるのか。

答 **町長**

数件の問い合わせがあり、廃校プロジェクトに掲載して公募中である。辺地債を使って改装し、より多くの企業に興味を持ってもらいたい。

問 **鈴木委員**

売却は考えてないのか。

答 **町長**

相手企業により売却・賃貸の両面で考えている。

問 **桑井委員**

辺地債のメリット・デメリットは。

答 **政策課担当**

メリットは、辺地債活用により8割を国・県が負担してくれる。デメリットはないが、町の2割負担が残ることである。

全会一致で可決。

▲旧神山小中学校

一般会計補正予算

議案第4号 令和3年度一般会計補正予算（第2号）

令和3年度一般会計補正予算案など、4議案を原案通り可決。

主な補正は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、町内で勤務する介護、教育従事者ら約1，650人を対象に、無料PCR検査を行う事業に2，435万円。新型コロナ対策を行う事業者らに最大30万円の補助金を支給する「がんばろう事業者応援事業」に6，017万円など。

このほか、低所得の子育て世帯に対して、児童一人当たり一律5万円を支給する「子育て世帯生活支援特別給付事業」に1，516万円、生活支援の一環で、年度内に生まれた新生児に1人10万円を給付する「出生児特別応援給付金事業」に1，833万円を盛り込んでいる。

がんばろう事業者応援事業

問　岡議員

がんばろう事業者応援事業は、令和3年6月15日から3か月の受付期間で、予算約6，000万円としているが、先着順なのか。また、予算を超えたら補正を組む予定は。

答　地域活性課長

先着順で、予算の限りで終了予定としている。

サーモグラフィーカメラ導入

問　中川議員

保育所と幼稚園に導入予定のサーモグラフィーカメラは何台設置予定か。

答　こども課長

町立保育所3カ所、町立幼稚園4カ所、計7台購入予定である。

問　中川議員

前回の議会で小中学校に2台購入しているが、小学校の入学式など、行事が他の学校と重なる時はどうするのか。

答　教育総務課長

2台を弾力的に運用にしている。

出生児特別応援給付金事業

問　友保議員

出生児特別給付事業の対象と支給時期はいつか。

▲こども課

答　こども課長

本町で出生届を出した人が対象、または出生届を出してから事業申請まで本町に在住している人が対象となる。

支給時期は、毎月申請を受け付けて翌月末には支給予定である。

三木町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

標準町村議会会議規則の改正に伴い、欠席等の届出及び請願書の記載事項等に関して改正する。

改正内容

①出産、育児、介護など議会への欠席事由を整備。

②出産については、産前・産後の欠席期間を定める。

③請願書は、請願者の利便性の向上を図るため、押印義務を見直し、署名又は記名押印とする。

土地開発公社の令和2年度業務報告

①ふるさとピア尾崎団地分譲事業の保有土地の貸付に伴う賃料を得、除草等の維持管理を行った。

②町道砂入荒木線用地取得事業については、事業に要する用地の取得を行った。

請願の行方

本議会での審査案件として、請願者「三木義美」氏他111名の請願書1件を受け付けた。

「旧神山村役場の保存・活用に関する請願」

請願者　三木　義美
紹介議員　安部　正雄
紹介議員　森本　晃司
紹介議員　中川　和樹

議会運営委員会の審議を経て、請願書は本会議で、教育民生常任委員会に付託された。

令和３年第１回臨時会及び第２回定例会 提出議案への各議員賛否表

○賛成　●反対　ー議長　欠（欠席）

議案番号・議案名		採決	岡昌吾	友保陽子	安西進	中川和樹	森本晃司	安部正雄	市原信夫	鈴木宏明	小島重俊	脇博文	富田修司	渡辺達実	西丸一明	粂井明人	筒井米市
第１回臨時会																	
議案第１号	財産の取得（高規格救急自動車購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第２号	財産の取得 （高規格救急自動車高度救命処置用資機材購入）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第３号	財産の取得（コミュニティバス購入 ２台）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第４号	専決処分の承認 （三木町税条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第５号	令和３年度三木町一般会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第６号	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
報告第４号	繰越明許費繰越計算書（一般会計）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
報告第５号	繰越明許費繰越計算書（農業集落排水事業特別会計）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
報告第６号	繰越明許費繰越計算書（公共下水道事業特別会計）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
第２回定例会																	
議案第１号	工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第２号	行政手続における押印の見直しに伴う 関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第３号	辺地に係る総合整備計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
議案第４号	令和３年度三木町一般会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
報告第１号	三木町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○
発議案第１号	三木町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○

議員出欠表

第１回臨時会（５月）
第２回定例会（６月）
〈本会議のみ〉

○は出席　◑は半欠　×は欠席

議員氏名	岡昌吾	友保陽子	安西進	中川和樹	森本晃司	安部正雄	市原信夫	鈴木宏明	小島重俊	富田修司	渡辺達実	西丸一明	筒井米市	脇博文	粂井明人
5/13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/8	○	○	○	○	○	◑	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

ここが聞きたい！

町政を問う

9人が質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、
町民の声や自身の考え方をもとに町長や教育長などの
方針を問うものです。

1人60分の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。
詳しい内容については、インターネット中継をご覧ください。

質問者	質問事項	ページ
脇　博文	1　ふれあい収集は。 2　女性消防団員の募集は。 3　鳥獣被害対策専門員は。	10
市原　信夫	1　新型コロナワクチン接種体制は。 2　讃岐ジオパーク構想に協力を。 3　自主防災連携に町の支援を。	11
森本　晃司	1　新型コロナワクチン接種の取組は。 2　放課後児童クラブ民営化の検討・協議は。 3　個人所有の危険構築物撤去の支援体制を。	12
渡辺　達実	1　ＰＣＲ検査等を希望する全町民への実施は。 2　放課後児童クラブの民間委託の問題は。 3　ペットボトルの使用削減を。	13
中川　和樹	1　三木町のめざすべき将来は。 2　４小学校区の将来は。 3　放課後児童クラブなど施設に対する民間活力導入の検討は。	14
友保　陽子	1　町立幼稚園の食物アレルギー対応は。 2　未就学児のマスク着用は。 3　いちご新規就農の移住者に対する支援は。	15
岡　昌吾	1　自主防災組織育成と訓練の重要性は。 2　感染対策により収容できない避難者の受入れは。 3　消防団員の教育訓練の充実を。	16
小島　重俊	1　ワクチン接種における危機管理体制の徹底を。 2　高齢者等移動支援事業の創設は。 3　ゼロカーボンシティへの取組は。	17
安部　正雄	1　障がい者の声への対応は。 2　新型コロナの町経済の影響は。 3　子どもたちのスポーツ振興の推進は。	18

問 より良いふれあい収集事業に

答 新たな制度であり今後、精査する

脇　博文議員

問 障がい者でゴミの廃棄ができない方の支援策「ふれあい収集」。要介護2以下の方でも、人によってはゴミを廃棄する事が出来ない。対応策は。

答 環境下水道課長

9月開始予定の制度であり、申請状況や問い合わせ等、今後、精査する。

▲期待されるふれあい収集

女性消防団員の募集は

問 女性のソフトな面をいかし、一人暮らし高齢者宅の防火訪問、防災教育及び応急手当の普及指導等も大切である。女性消防団員の募集は。

答 総務課長

女性ならではの活動が期待されるが、他自治体の女性消防団の活動を調査・研究する。

二酸化炭素の削減は

問 本町にも古い自動車がある。モニター制度を採用し、ハイブリッドか電気自動車導入など二酸化炭素の削減は。

答 総務課長

「車両や設備の活用状況モニター制度」など補助事業等も調査・研究し、積極的な二酸化炭素の排出削減に努める。

骨粗しょう症の対策は

問 骨粗しょう症は骨の強度が低下し骨折しやすくなる病気である。国の健康増進事業に女性の骨粗しょう症検診がある。個別検診で取り入れれば良いと思うが。

答 住民健康課長

本町は、予防に重点をおいた対策をとっている。個別検診は、県内の状況も踏まえ、調査研究する。

農業姿勢

問 本町の中山間地域は、野生鳥獣による被害が深刻化している。その対策は。

答 農林課長

三木町鳥獣害対策協議会において、関係機関と連携し、鳥獣被害の軽減に努める。

問 中山間地域の高齢化も進んでいる。畦畔草刈の負担が重く、農地維持管理が出来ない人が増加しつつある。早急な対策は。

答 農林課長

「中山間地域等直接支払制度」を活用し、農地の多面的機能の保全を行う地区に対し国・県・町による交付金を交付、制度の周知を図る。

◀ 脇議員一般質問（インターネット）

市原　信夫議員

問 新型コロナワクチン接種円滑実施に万全を

答 全力を挙げて取り組む

問 新型コロナウイルスの猛威は依然、衰えを見せていない。蔓延防止の切り札となるワクチン接種の見通しと対応は。

福祉・教育現場で、コロナ禍に伴う孤立などの影響はでていないのか。

答 町長

木田地区医師会から医師2人、看護師5人を派遣していただき、順調に進んでいる。

高齢者の接種を7月末までに終え、高い年齢から10又5歳刻みで接種券を発送して行く。高齢者、生活困窮家庭、一人親家庭からの目立った相談はきていない。

答 教育長

児童生徒がストレスから不安傾向を示す事例もあるが、児童生徒の心の声をいち早く把握するよう努めている。

讃岐ジオパーク構想に協力を

問 太古の火山活動がもたらした自然・歴史・文化を「ジオパーク」として見直す動きが、香川県でも、香大の長谷川修一教授グループを中心に広がっている。三木町でも協力してはどうか。

答 教育長

ジオパークは地域まるごとを公園にする活動で、観光や環境教育を通じて、持続可能な社会をめざすものとして認知度が高まっている。日本では9地域がユネスコ世界ジオパークに認定されている。

三木町でも、貴重なジオサイトの一つに、南部の山際を、東西24キロに走る「長尾断層」がある。協力依頼があれば、本町の魅力の掘り起こしとして取り組みたい。

▲長尾断層の現地説明をする香川大学の長谷川教授

自主防災連携に町の支援を

問 2011年3月に起きた東日本大震災から、今年は10年になることを受け、人々の防災意識は高まっている。本町においても、今年4月、地元の防災士らの呼びかけで、「氷上校区自主防災組織連絡協議会」が発足した。

町は、こうした活動に対し、前向きな支援を行っていくべきではないか。

答 総務課長

住民自らが発案した「氷上校区自主防災組織連絡協議会」は、本町における自主防災組織の基盤づくりという観点において、大きな一歩と考えている。今後、自主防災組織の連携・広域化に要する経費を補助するため、香川県自主防災活動活性化促進事業等の積極的周知を行い、地域の基盤づくりを推進して行きたい。

市原議員一般質問（インターネット）▶

問 新型コロナワクチン接種の取り組みは

答 接種体制の整備に努める

森本　晃司議員

問 65歳以上の高齢者へのワクチン接種については、7月末完了するのか。基礎疾患がある方や、希望者への取り組みなど、今後の方針は。

答 町長

接種を希望する高齢者のワクチン接種を、7月末までに終えるよう、集団・個別接種ともに増やしていく予定である。

基礎疾患を有する方と年齢階層別に、高い年齢から、時期をずらして、希望するすべての方が、安心してワクチンを接種していただけるよう、接種体制の整備に努める。

放課後児童クラブ民営化

問 放課後児童クラブの運営を、民間へ業務委託することについて、保護者・支援員など関係者間で、お互いに納得は出来ているのか、今後どのような方針で検討・協議していくのか見解を示せ。

答 こども課長

喫緊の課題として、支援員不足の状況があり、全国的にも同様な課題をもつ自治体では、公立民営化が進んでいる。

民間活力を導入することによる、児童への支援の質の向上、支援員の業務量の負担改善など、本町が抱える課題への対応が期待される。

児童や保護者と、支援員や町の双方にとって、課題解決に向けた効果的な取り組みとなるよう、様々な意見をいただきながら、慎重に検討を進めていく。

危険防止対策は

問 交通事故や、ため池・河川への転落事故、危険空き家などの安全対策を、香川県が策定したガイドラインに沿って推進すべき。

又、個人所有の危険構築物等に対して、自己処理できない場合に、事故の未然防止対策として、支援制度の創設はできないか。

答 土木建設課長

県のガイドラインに基づき、具体的な実施計画を策定し、関係機関と連携、調整を行い安全安心の確保に努める。

個人所有の、一般工作物撤去に対する支援制度はなく、支援制度の創設も難しい状況であるが、防災上の観点から、所有者に対し、助言・指導を行っていく。

▲（町民から要望の危険個所）転落防止対策を

◀ 森本議員一般質問（インターネット）

渡辺　達実議員

問 希望する町民へのPCR検査を

答 今後の感染状況等を見極め慎重な判断をしていく

問 PCR検査等を、希望する全町民への実施を求める。

答 町長

一度検査をすれば大丈夫というものではなく、限られた予算を有効に配分する必要もあり、感染状況を見極め、慎重な判断をしていく。

▲集団接種会場

放課後児童クラブ民間委託

問 放課後児童クラブの運営は、町が責任をもって行うことが基本と考えている。民間委託には反対だ。今後どのように進めていくのか。

答 こども課長

現場における児童や保護者対応など、保育部分の委託を想定している。

民間のノウハウを活用し、支援の質の向上など、プラスの効果を発揮できると考えている。

関係者の理解の醸成を図りながら、可能な限り早期の民間委託に向け取り組んでいく。

ペットボトルの使用削減を

問 大量に消費されているプラスチック製品を減らしていく努力を提案する。

環境を保全する課題として、ペットボトルの使用削減を求める。役場の会議等で出されているペットボトルのお茶を取りやめてはどうか。

答 総務課長

職員の負担を軽減するため、ペットボトルのお茶出しを導入してきた。

今後は、環境に配慮された商品を優先的に購入するほか、使い捨てプラスチックの使用削減に向け検討を進める。

全国学力テスト

問 全国学力テストが2年ぶりに実施され、小学6年生と中学3年生の全員を対象に取り組まれた。新型コロナウイルス感染症対策で忙しい学校現場で、子どもたちに混乱が生じなかったのか。

答 教育長

国が義務教育の機会均等とその水準の維持向上を目的として実施するもの。小学生244名、中学生223名が参加し、国語と算数・数学の学力調査と、生活習慣や学習環境等の調査を行った。

問題もなく円滑に実施できた。学習状況を分析し、指導計画の見直しや指導方法等の改善に向け取り組む。

渡辺議員一般質問（インターネット）▶

問 本町の中長期的ビジョンは

答 魅力あるまちづくりの実現を推進

中川 和樹議員

問 総合戦略、基本方針から見た、めざすべき将来は。

答 町長

地域に誇りを持ち、「三木町にずっと住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりの実現をめざす。

小学校区の将来は

問 将来の、児童数の推移と、工事費の巨額な財政負担から、統廃合を想定する必要がある4小学校区の将来は。

答 町長

中長期的に見て、急激な児童数の減少は見えない。各小学校とも、地域の声や力を積極的に生かし、地域と一体となり特色ある学校づくりに取り組んでいる。学校と地域が強い絆を構築し、教育活動の充実も図られている。

そのため、当面は小学校区の見直しは必要ないと考える。

事業民営化を具体的に示せ

問 放課後児童クラブなど、施設の管理・運営については、効果的な管理方法を検討するとあるが、具体的に示せ。

答 町長

学校施設等の修繕・長寿命化計画を策定し、まずは学校給食センターの整備に取り組む。また、放課後児童クラブなど適切なサービス提供と、安定した運営を両立するため、民間活力の積極的な導入が必要と考える。様々な活力導入方法の中から、用途に適した管理・運営方法を検討し、持続的な施設サービスの提供と、業務・財政の効率化を図る。

▲氷上児童クラブ

下水道事業の将来は

問 経営基盤の強化をどう図るか示せ。

答 環境下水道課長

早期水洗化の促進による水洗化率の向上、使用料適正化等の収支構造の適正化によって、一般会計からの繰入金の低減を実施し、経営基盤の強化を図る。

問 下水道事業の将来は。

答 環境下水道課長

財政的な見地から、継続的に検証を行い、必要な対策を実施。計画から大きくかいりする状況が生じた場合、全体計画の見直しの実施など、安定的・継続的な経営に努める。

◀ 中川議員一般質問（インターネット）

友保　陽子議員

問 町立幼稚園の食物アレルギー対応は

答 食の安全性を最優先した対策に取り組んでいく

問 **町立幼稚園の園児のうち、約1割が食物アレルギーを持っている。発症率の高い未就学児こそ、もう一歩進んだ対応をするべきでは。**

答 **教育総務課長**

「三木町立学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき、現在、飲用牛乳のみの除去食となっている。

食物アレルギーを有する園児が一定数いることや保護者負担等を考慮している。もう少し食物アレルギーへの対応ができないか、教員や栄養士、調理員などと協議を続けている。一人でも多くの園児が給食を食べられるよう、食材使用の検討や献立を工夫するなど、取り組んでいく。

問 **未就学児のマスク着用について、本町はガイドラインを定めているか。**

答 **こども課長**

幼稚園や保育所では、一定の対応が取りづらい状況であることから、本町独自のガイドラインは定めていない。

今後、熱中症に留意する時期を迎えることから、改めて保護者への周知に努める。

いちご新規就農支援

問 **本町のいちご生産量は全国13位。女峰は全国1位。いちご就農をもっとアピールするべき。**

移住定住策も含めて、いちご新規就農者に対する支援策を示せ。

答 **地域活性課長**

いちご新規就農者を移住施策に繋げるという提案は、担い手の確保と移住・定住を推進する取組として、大変意義があると承知している。

本課としても、特産物であるいちごの新規就農には着目しており、移住施策の支援に向けて、いちご生産者と意見交換するなど調査を進めている。

今後も、いちごの新規就農と連動した移住・定住施策の具体化に向けて取り組んでいく。

▲上高岡にある観光農園

友保議員一般質問（インターネット）▶

問 自主防災組織育成と訓練の実施は

答 共助の体制強化に努める

岡　昌吾議員

問 災害発生時に自主防災組織が、本来の活動をするためには、日頃からの教育や訓練が重要ではないか。

答 町長

コロナ感染症がいまだ収束の兆しが見えない中、災害はいつ発生してもおかしくないことを念頭に置き、自主防災組織と連携した事業を実施し共助の体制強化に努める。

▲正一・川原井自主防災訓練

問 感染症対策により、収容できない避難者の受入れ先は。

答 総務課長

今後は、指定避難所以外の学校施設・指定避難所となっていない公共施設や民間事業所との連携を図れるよう努める。

問 災害時指定職員の避難所配置は。

答 総務課長

今後不可欠な存在になることが容易に想定され、制度として確立出来るかどうかを検討する。

問 危機管理専門職員の人材登用は。

答 総務課長

適時・的確な助言をもって本町の安心安全なまちづくりに貢献できる人材登用について調査・研究する。

問 消防団員の教育訓練の向上施策は。

答 総務課長

消防団各員の役割、レベルに応じた、より専門的な技術習得の場である消防学校の積極的な受講を呼びかける。

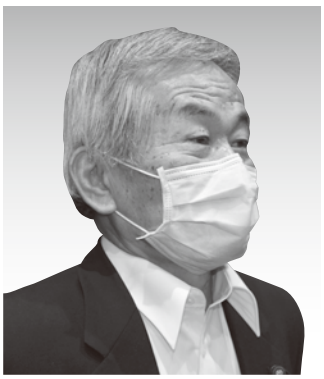
火災発生時の住民への情報は

問 サイレンが鳴ってからの情報提供までに時間がかかっているがその対策は。

答 総務課長

火災情報提供をより迅速に行うための複数メディア配信システムの整備を進めており、本年度第二四半期をめどに運用を開始する予定としている。

◀ 岡議員一般質問（インターネット）



小島　重俊議員

問 ワクチン接種における危機管理体制の徹底を

答 感染予防の観点から関係者以外の入場は認めていない

問 ワクチンの集団接種会場で撮影した写真を使い、個人の宣伝活動をしても良いのかとする問合せがあった。

個人の意見として、関係者以外の入場は避けるべきであり、危機管理体制の問題があると回答したが、本町での集団接種体制は。

答 住民健康課長

感染予防の観点から、接種を受ける方以外の入場では、付添人の同伴のみを認めている。報道関係者も接種に支障のない範囲としている。

今後も、木田地区医師会と連携しつつ、接種会場の安全・円滑な運営に努めていく。

高齢者等移動支援事業

問 丸亀市では、小学校区を単位とした地域ボランティアによる「おでかけ便」が具体化され、観音寺市でも「あったか一ノ谷」とした高齢者の移動支援がスタートしている。

また、本年度より県による移動支援事業補助金が制度化されており、新たな出発をめざす本町独自の地域公共交通網形成計画を補完する形での積極的な検討が望まれる。

答 政策課長

本年10月より、コミュニティバスの運行計画を見直し、平野部では、小回りの利く小型車2台で、現在の3コース・15便を6コース・30便とする準備を進めている。

ただ、定時定路線での運行では、バス停に行くことが困難な高齢者等への配慮が不十分と考えており、他自治体での実態を調査・研究していく。

（営利を目的としない住民の助け合いによる移動サービス）

ゼロカーボンシティ宣言

問 地球温暖化が進む中、目先の費用対効果や「三木町にとってどうか」だけでない対策が必要と考える。

本町の思いとして、ゼロカーボンシティ宣言をすべきでは。

答 環境下水道課長

気候変動に伴う記録的な豪雨や猛暑など、その被害が深刻化している現状で、温室効果ガスの削減は、地球規模での取り組みが必要である。

本町の総合戦略目標にも位置付けているが、ゼロカーボンシティ宣言には、様々な調査や合意形成が必要であり、調査・研究を進めたい。

※新たなコミュニティバスの運行開始時期については、本紙発行時点で、車両調達の都合により、令和4年1月を予定している。

小島議員一般質問（インターネット）▶

問 障がい者の声への対応は

答 個々の状況に応じ丁寧な支援を実施

安部 正雄議員

問 令和3年3月に作成された「三木町障がい者プラン」のアンケートに示された障がい者の声への改善措置は。

答 福祉介護課長

アンケートでは「サービスの内容が分からない」「サービスの情報が少ない」などの意見が多かった。

サービス内容が複雑なことから全てを網羅した周知は難しい。今後は個別相談などで、相談者に応じた内容や支援策を丁寧に説明する。

問 障がい者への「合理的配慮」について、具体的内容と取組状況は。

答 福祉介護課長

障がい者が、他の者と平等に人権及び自由を享有できるように、行政機関等は社会にある障がいを取り除く「合理的配慮」を講ずる必要がある。

本町では、障がいを理由とする差別の解消を推進するために、職員対応要領を定め、的確な対応や相談体制の構築に努めている。

なお、援助や配慮が必要な方には「ヘルプマーク」などを渡して周囲が気付きやすい環境整備を図っている。

新型コロナの町経済の影響は

問 新型コロナ感染症が猛威を振るい日本経済に大きな打撃を与えている。本町での影響分析は。また救済支援策が必要な人達に届いているか。

答 地域活性課長

本感染症の地域経済への影響については見通しがつかず、今後も厳しい状況が続くと考えている。これまで実施した各種支援事業に対し、様々な意見が届いているが、事業継続に繋がる効果があった。

スポーツ振興について

問 スポーツは体力向上や健康維持に加え、集中力や連帯感の発達にも役立っている。スポーツ離れが叫ばれる現状でのスポーツ振興策は。

また、子どもの体力低下が懸念されるが対策は。

答 生涯学習課長

小中学校では、体力向上プランを作成して運動能力向上に取り組んでいる。また、子どもがスポーツに親しむ習慣や意欲を養うよう家庭や地域との連携を図る。

問 スポーツ少年団に配慮した施設利用時間の変更は。

答 生涯学習課長

利用時間の変更は、一般団体との関係で現状では難しい。

▲練習に励むスポーツ少年団員

◀ 安部議員一般質問（インターネット）

追跡レポート

防災行政無線デジタル化
高仙山山頂に中継局

「屋外スピーカーが聞き取りにくい」――そんな防災行政無線の悩みを解消するため、令和元年6月から進められてきた防災行政無線デジタル化整備事業が、令和3年3月、工事が完了し、運用がスタートした。

この事業は、国から周波数制限の指示を受けたことに伴い、平成30年に実施設計を開始。総工費約7億30万円で、緊急防災・減災事業債（国70％、自治体30％）を活用した。議会も、特別委員会を設置して態様を検討した。

その結果、三木町で一番高所にある高仙山山頂に中継局を新設、役場からの電波が、町内ほぼ全域をカバーするようになった。住民からは「音声が明瞭になった」と好評だが、課題も出てきた。

デジタル電波が直進するため、アナログに比べ、谷間が〝死角〟となり、火災で出動した消防団から「電波が途切れる」という意見が出てきたが、そこで、災害活動時は、トランシーバーのような「直接通信」で対応する訓練を行っている。

屋外スピーカー、消防団に配備している携帯型無線機など移動系無線のほか、従来の防災ラジオに代わる各家庭用戸別受信機を無償貸与することとし、三木町全世帯から予約申し込みを受け付け、5，000台を用意した。

しかし、宅内アンテナ工事を行わなければならない地域が想定以上に多かったことや、「壁に穴が開く」などの理由で工事を渋る家もあって、利用は3，531台に。転入者や新たな申込者用に予備として約1，470台を保管している。

防災行政メールが人気

一方、防災行政メールを登録している町民は、昨年六月に比べ254人増の5，240人と、うなぎ上りだ。

総務課では「災害速報や避難所の状況も分ることから認知度が高まり、防災情報を受け取る上で、重要な手段のひとつになっている」としている。

希望者は総務課に問い合わせて欲しいという。

▲高仙山山頂の中継局

元気なグループ紹介

「しらやま朝市」 会長 寒川 春己

しらやま朝市に来てみませんか？

昨年7月より、ウォーキングセンターで毎月第2日曜日の朝開催しており、毎回200人以上の方に来ていただいています。

この朝市は、地域住民の生きがいづくりや交流の場として、地域活性化を図るために始めました。

立ち上げ時には、手作りの出店依頼のチラシを持参して、六車所長と二人で約2か月間、農家を一軒一軒訪問して協力をお願いしました。

出店品は、地元の新鮮野菜や果物、手作り雑貨など、季節によって毎回様々で大変好評です。

令和2年11月には、白山小学校6年団の参加もあり、学校で栽培したお米やミカンの販売をしてくれました。

最初は恥ずかしそうにしていた児童たちが、時間の経過とともに明るく大きな声でお客様に声をかける姿はとても微笑ましく頼もしい光景でした。

コロナ禍の中での開催は、感染防止対策にも苦労しますが、収束後の新たなイベント開催も企画中で、今後更にしらやま朝市を盛り上げていこうと思っています。

▲千客万来

金魚や竹細工のコーナーもあります

お気軽に議会を傍聴しませんか

●お問い合わせは、議会事務局へ ☎(087)891−3311

本会議の傍聴人の定員は、15人です。次の定例会は、9月上旬の予定です。

編集を終えて

人の一生を自然の移り変わりになぞらえ、青春、朱夏、白秋、玄冬と表す考えがあります。白秋期は、現役を引退して、束縛から解放され自由の身となり、自分本位に生きられる人生の黄金期とも言われています。

そんな白秋期の人達が、ワクチン接種に並ぶのを見て、失われた一年半の虚しさと、これからの余生に幸多からんことを願うばかりです。

（安部 正雄）

議会だよりは私たちが編集しています。

編集委員長 市原 信夫
同副委員長 安部 正雄
同 委員 鈴木 宏明
同 委員 小島 重俊
同 委員 森本 晃司
同 委員 中川 和樹
同 委員 安西 進
同 委員 友保 陽子
同 委員 岡 昌吾

令和3年7月20日発行
三木町議会だより
〒761-0692 香川県木田郡三木町大字氷上310
編集 議会広報編集委員会
☎087(891)3311